

## 県立病院・県立看護大学の地方独立行政法人化に関する懇談会

### - 第 1 回 ・ 結 果 概 要 -

- 1 日 時 平成20年2月12日(火) 14:00～15:40
- 2 場 所 県民ふれあい会館 4階 409特別会議室
- 3 出席者 天羽委員、蒲委員(八田様代理出席)、高木委員、戸田委員、野尻委員、松波委員、武藤委員 以上7名
- 4 事務局 健康福祉部長、医療整備課長、県立病院企画監、看護企画監 ほか  
県立3病院の院長、事務局長  
県立看護大学の学長、事務局長

#### 5 概 要

##### (1) 座長選出

互選の結果、満場一致で、野尻委員(県医師会会長)が座長に選出された。

##### (2) 県立3病院

医師や看護師を確保し、本県の医療を充実させるためには、地方独立行政法人化の方向で進めることが望ましいとの意見であった。

主な発言は、以下のとおり。

- ・地方独立行政法人化すべきではないか、とこれまでも話してきた。
- ・地方独立行政法人化することは一歩前進。病院経営は非常に難しく、院長が人事権を持たないとうまくいかない。
- ・患者に直接接している看護師の意見を聞いてもらえるようなボ

- トムアップ型の組織の運用をすべきである。
- ・事務局は、医療制度の変革に精通していないといけない。
  - ・地方独立行政法人化しても、県の介入はあるのか。  
不採算医療等の継続に必要な支援は行うが、人事に介入するつもりは今のところない。(事務局)
  - ・3病院で1法人となるのか、それとも3法人となるのか。  
いろいろな形があり得るが、この懇談会で意見をいただき、県の方針を決めたい。(事務局)

### (3) 県立看護大学

公立大学法人化をすでに行った都道府県が多いことなどから、特に問題ないとの意見であった。

主な発言は、以下のとおり。

- ・学長のリーダーシップが感じられる大学の方が学生は志望しやすいのではないか。
- ・県内にどれだけの卒業生が残ってくれるかが大きな問題。投資対効果を考えなくてはならない。  
就職については、県内定着の促進を図っている。3年生の冬にインターンシップみたいな形で病院に入って、そこで、看護師のやりがいを伝えてもらい、就職に結びつけてほしいと考えている。(事務局)
- ・入試の際に地域枠はあるのか。  
推薦による入学者は、すべて県内の出身者。開学以来、本県の全高校に出向き、説明を行っている。(事務局)